

# Takako Ines Asahina

Pianist and Composer

Ground-breaking, evocative  
Afro-Classical rhythms.

アフロ・クラシック  
～魂を揺さぶる新しい音楽の誕生～

至高の旋律と悠久のリズム。  
その融合が織りなす心地よい響きは、新しく、懐かしい。



源流がクラシックである彼女は、通る街ごとに流れの表情が変わってきて、今のステイミュレートジャズにたどりついた。その透明感は、モダンジャズではなく、Future ジャズを予感させる。

---- 三枝成彰

東京生まれ。クラシック音楽をベースにした独自のスタイルで国際的に活躍するピアニスト&作曲家。日本演奏連盟オーディションに合格。ソロリサイタルや大阪フィルハーモニーを始めとするオーケストラと共演する。また自らのバンドによるオリジナル曲やラテン、ジャズ演奏などその活動は実に多様である。音楽の特徴は、クラシック音楽の緊張感とエキサイティングな新しいリズムにある。

2006年、New York にてアメリカデビューを果たす。同年、スムーズジャズのパイオニア Tom Grant と共演。2007年10月、New York のピアノの殿堂スタインウェイホール、さらにカーネギーホールにて、自ら率いるバンド“クラシオン・リズム・セクション”と共にコンサートを開催し、彼女の力強く繊細なピアノ演奏は、多くの聴衆を魅了し、好評を博す。

2009年、日本ツアー(東京&大阪)ではフランス語によるボーカルに初挑戦、新しい境地を拓いた。同年7月、自作の“Musician in New York”が“Song of the year” Instrumental/jazz/world 部門、第11回(2009年度)、第12回(2010年度)“Great American Song Contest” Instrumental 部門でファイナリストに入賞。また自作“Parfum Exotique”が同コンテスト第12回の Pop / Adult Contemporary 部門でファイナリストに入賞。「メロディーがボードレールの詩のトーンを完璧に捕らえている」との評価を得る。

2010年、2月～3月、東京&大阪公演では昨年に引き続き、満員の聴衆の熱狂の中で、勢いに溢れるパフォーマンスを見せた。同年11月には、ニューヨークの老舗ジャズクラブ“Birdland”に出演。

◇1998年 CD “Piano of Healing” ◇1999年 CD “月夜のデフォンス” ◇2006年 DVD “My New York Sound” ◇2008年 CD “Musician in New York” をリリース。

Takako Ines Asahina

www.takakopiano.com - email: [music@takakopiano.com](mailto:music@takakopiano.com) - [takako.paris@ezweb.ne.jp](mailto:takako.paris@ezweb.ne.jp)  
phone: 917-279-8707 (USA) +81-90-3720-5736 (Japan)